

28 部活動でがんばるKさん（中学校）

現在、特別支援学級に在籍し、様々なことに頑張っているKさん。部活動は吹奏楽部に入ってユーフォニウムを担当しています。友達にちょっかいを出したり、話をしたりするなど、集中できない場面が入部当初から多く見られました。そのような状況から、本人が楽しく部活動に参加できるようにするには、どう配慮していけばよいでしょうか。

どうしてそうなるの？（考えられること）

- ◎部活動の中で自己肯定感、有能感が得られていないため
- ◎教師の話している内容がわからないため
- ◎最後まで曲を吹いたり、ドイツ音名を覚えたりできるか不安なため
- ◎リズムや音程がうまくとれないため
- ◎毎朝起きられるか、毎日部活に参加できるか不安なため

合理的配慮・具体的な支援（例）

1 覚えやすい方法での個別指導を行う〈①－1－1〉

- リズムがうまくとれないときは、教師が後ろから肩を叩いて正しいリズムを伝え、合わせられるようにする。
- 音程がうまくとれないときは、本人に歌わせるとともに、聴き取った音程が前と比べて高かったか、低かったかを自分の手の高さで表現させるようにする。



個別指導のおかげで演奏できるようになりました。

2 自分から質問できる場を設定する <①-2-2>

○困っている場合であっても、自分から質問するまで様子を見るようにする。質問があった場合には、キーワードを中心に教える。メモが苦手なので、メモを取る際には箇条書きにするように伝え、メモを取る量を減らす。



本当に困ったとき、先生に「〇〇について教えてください」と質問できるようになりました。

自分で書いたメモをもとに活動に取り組むことができました。

3 自己肯定感の高まりを促す <②-2>

○友だちと2人でパートリーダーとなり、リーダー会議で意見を言ったり話し合ったりする等して、生徒自身が部活動の中で自分の居場所を意識し、より意欲的に活動に取り組めるようにする。

顧問の教師が、部活動の仲間の理解を深めたことにより、自分の意見を言いやすい環境になりました。意見が食い違っても落ち着いて話をするようになりました。

※決して特別扱いはせず取り組めるようにしました。



4 活動の見通しがもてるように配慮する <①-1-1> <①-2-3>

○1週間の予定表について、全体場で確認する時間を作り、見通しがもてるように配慮する。部活動日誌にも、予定している活動の内容をできるだけ詳しく記載し、心理的に不安を少なくして取り組めるようにする。



29 部活動のスケジュール管理が苦手なLさん（中学校）

運動部に所属しているLさんは、週予定や月間予定、体育館使用割り当てなどを担当教諭や友達から伝えられても十分に理解できず、練習時間に遅刻したり、活動場所を間違えたりして困っています。どう配慮していけばよいでしょうか。

どうしてそうなるの？（考えられること）

- ◎提示された情報を整理して、自分の都合と合わせたり、調整したりすることが苦手なため
- ◎言葉（音声）による提示では複雑な内容の理解が難しく、予定の急な変更に対応したり、古い情報を更新したりすることが上手くないため

1 週や月の当初計画を書面で伝え、その後変更した部分については、分かりやすく工夫して掲示する <①-2-1>

○見通しをもたせるために、カレンダーに予定を書き込むなどして時間経過が視覚的に捉えやすい計画を提示する。

合理的配慮・具体的な支援（例）

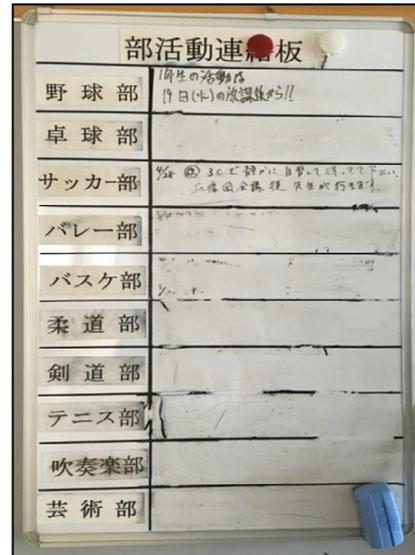


生徒に配付した部活動計画（週・月）を校内に掲示したり、学校のホームページに掲載したりして、自ら確認できるようにします。

2 担任と部活動担当者との連携・支援体制を整える <①-1-1> <②-1>

- 部活動担当者と当該生徒の担任及び関係職員が、その生徒に対する配慮内容を共有する(個別の教育支援計画・個別の指導計画の活用)。
- 補助的な視覚的情報を活用して、分かりやすい文書作成や提示の仕方を工夫する。
- 必要に応じて、該当生徒に対して個別に内容を再確認する。

平成28年度 第16週(7月11日～7月17日)		1年書=BD 美=AC
日	曜	校内・校外行事
11	月	ノー部活動 総体・コンパ・出場選手を励ます会(体育館) フッ化物洗口(1学期最終)
12	火	スタールカランセラ-東校(1学期最終) 少年の主張発表者行合(放:2階特活室)
13	水	
14	木	総体・コンパ・出場選手を励ます会 卒業アルバム部活動写真
15	金	
16	土	総合体育大会 ・72対エニ=市営2-1 9:00 ・野球=市営球場8:30 ・サカ= 8:00 ・柔道=市民体育館 9:00 ・剣道=市民体育館 9:00 ・バレー=市民体育館 10:30 ・バレー=市民体育館 10:30 ・バレー=市民体育館 10:30 ・バレー=市民体育館 10:30 水稲航空防除(4:00~11:00)
17	日	総合体育大会 ・野球= 球場9:00 ・サッカー= 9:00 ・剣道=市民体育館 9:00 ・バレー=市民体育館 10:30 ・バレー=市民体育館 10:30 地区吹奏楽祭(ふれあい会館)9:30 水稲航空防除(4:00~11:00)
来週の予定		
18	月	海の日
19	火	少年の主張 第1回実行委員会(放:生徒会)
20	水	終業式
21	木	夏季休業~8/31総体(テ、野、サ、柔、剣、卓、バ)ス
22	金	総体(テ、野、サ、柔、剣、卓、バ)ス
23	土	総体(テ、野、サ、柔、剣、卓、バ)ス
24	日	総体(野、サ、柔、剣、卓、バ)ス



3 練習場所や使用する部活動名を表示する <①-2-1>

- 奇数日や偶数日、曜日、時間などで使用割当をローテーションしている場合は、部活動名と特徴的なイラストを入れた「使用札」を練習場所に表示したり、同様のイラストをカレンダーに表示したりする。

卓球部体育館週使用割当の表示例

月	火	水	木	金

4 学校からの発信・情報伝達の定着を図る <①-1-1> <②-2>

- 定期的に学校だよりや部活動通信などを配付したり、校内に掲示したりする。
- 各部の予定を学校のホームページに掲載し、発信する。

30 学校生活に情報機器を活用するMさん（中学校）

Mさんは、現在特別支援学級に在籍し、学校での生活は、特別支援学級と交流学級（通常の学級）の双方で過ごしています。

1日の予定や活動に見通しをもつことが苦手です。また、本を読むことも苦手で、困っている場面が多く見られました。どう配慮していけばよいでしょうか。

どうしてそうなるの？（考えられること）

- ◎注意力、短期の記憶力の困難さから活動場所や活動内容を忘れるため
- ◎教科書や本の文字を読むことで精一杯になり、内容をつかめないため

合理的配慮・具体的な支援(例)

1 1日の予定の確認や自己評価の入力にタブレット等の情報機器の活用を図る〈①-1-1〉

- 朝の会で、タブレットに今日の学習予定（時間割）を入力させるとともに、今日の目標について話し合う。
- 休み時間に目標の振り返りを行い、◎や○、△など自己評価をタブレットに入力させる。



今日の時間割をタブレットで確認しながら、自己評価（振り返り）ができるようになりました。

2 休み時間の読書に情報機器の活用を図る <①-2-2>

- これまで自分から読書をすることはなかったが、音声教材（※）をタブレットにインストールしたことにより、休み時間に音声を聞いて、内容を把握することができるようになった。



タブレットに入っている教科書の内容や物語は、自分で文字を読まなくても音声で内容が分かるので、読書が楽しくなりました。

教科書の本文を先生やボランティアの方が、ICレコーダーに録音してくれたので、それを聞きながら教科書を見るようにしました。内容をよく理解することができました。



3 ICTの正しい利用方法について指導する <①-2-2>

- 学習や生活にタブレットやパソコンを使うことは便利ではあるが、依存症になったり健康被害を招いたりすることがあるので、1日の使用時間を決める等保護者と相談し、本人と話し合うようにした。
- 保護者と連携して、家庭でもアクセス制限をしてもらい、安全に使用できる環境をつくるようにした。
- 教育上望ましくないコンテンツやサービスにアクセスしてしまった場合の対処の仕方などを教えるようにし、使用する生徒が正しい情報機器の使い方ができるよう継続的な指導をした。

※音声教材について ○公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会
「マルチメディアデイジー教科書」
○東京大学先端科学技術研究センター
「アクセス・リーディング (Access Reading)」
○特定非営利活動法人エッジ「音声教材ビーム (BEAM)」